



サービス・ツーリズム産業労働組合連合会

〒160-0002 東京都新宿区坂町28-6 坂町Mビル2F  
TEL: 03-5919-3261 FAX: 03-5919-3264  
E-mail: stu@net-stu.com  
発行人: 数村 滋



## 第6回定期大会を開催

### 組織拡大と産別機能の強化をめざす

サービス連合は、7月20日に東京・ホテルラングウッドにおいて「第6回定期大会」を開催しました。定期大会には、役員・代議員・傍聴者など約250名が出席し、中間年ながらも「2006春季生活闘争のまとめ」、「2005～2006年度運動方針中間のまとめと補強」などの議案を熱心に討議し、各大会議案を原案どおりに採択しました。本部定期大会に引き続いてホテル・レジャー部会、観光・航空貨物部会の「第6回部会定期総会」が開催され、各部会2005～2006年度運動方針の補強を行いました。「組織拡大と自らの運動改革」をさらに推し進めていくことを共通認識として2006年度の運動に取り組んでいきます。

### 250名が出席し熱心な議論

西川副会長の司会で開会した定期大会は、新盛代議員（藤田観光）、水田代議員（トップツアー）の両氏を議長団に選出して議事に入りました。

冒頭のあいさつで笠原会長は、2005～2006年度の中間年に当り「10万人構想の着実な実現」と「産別機能の整備と運動の定着」についての基本認識に大きな変更はないとしたうえで、組織人員の減少傾向には歯止めがかかりつつも、中期的な運動方針議論の基盤がさらに変化していると述べ、2006年度の重点課題として「組織拡大」「変革期の中での運動の改革」「財政健全化」の3つの課題に、引き続き強い気持ちを持って取り組もうと訴えました。続いて来賓のあいさつを受け、まず連合を代表して高

木会長が、小泉政権の5年を振り返り、顕著に表れてきた格差の問題、それに関連する税制と社会保障制度の課題、今春闘の総括と議論を継続している労働契約法制の経過について述べられました。

また、航空連合の清水会長は、加盟組合で発覚した時間外不払い問題を事例に労働契約法制についての考え方を述べたほか、4月に原油高に伴う運賃値上げを実施したにもかかわらず、この秋にスポットで行う大手2社の過剰なダンピング競争を例に働く者の立場からコンプライアンス（法令順守）を強く訴えていくと述べられました。



冒頭あいさつする笠原会長

## 2006年度 運動方針の補強

# 「組織拡大」と「財政の健全化」をめざす

定期大会では、熱心な議論の末にすべての議案が賛成多数で原案どおりに可決されました。

2005年度1年間の運動では、契約や関連社員の組織化、未加盟組合の加盟、新規組合の結成など、組織拡大で一定の成果が示され、サービス連合が結成されて初めて、わずかではありますが前年度の登録人員を上回ったことが報告されました。

「2005～2006年度運動方針中間のまとめと補強」では、「組織拡大」と「財政の健全化」をめざす具体的な方策を提起しました。

### 引き続き積極的な組織拡大を

最重点課題の一つである組織拡大は、2005年度でも一定の成果を出しましたが、この勢いを持続すべく、引き続き「2年間で4,000名」の新規拡大目標の実現をめざし取り組みを継続する事を確認しました。

このほか昨今の労働法制見直しの動きで、組合組織については、従業員の過半数を占めることが条件として求められるケースがこれまで以上に増えてくることから、過半数組合の比率を高めるべく、組合員範囲の見直し強化や未加盟者の加入促進、ユニオンショップ協定締結の取り組み強化など、従業員の過半数の組織化と維持に努めることとします。



円滑に議事を進行した議長団  
新盛議長（左）、水田議長（右）



### 労働法制の改正審議にも注目

来賓挨拶でも大きく取り上げられている労働契約法や労働時間法制改正をはじめとする労働法制全体の改正には、私たちの産業においても結論によっては、大きく影響することも想定されるため、情報収集はもちろん、連合で開かれる関連する委員会などには積極的に関わっていくことを確認しました。

### サービス連合賃金目標 「35歳年収 550万円」

賃金関係については、これまで各業種別部会を中心に行ってきました。これらの取り組みについては継続していくものの、産別全体の底上げを意識した取り組みとして、サービス連合で統一した賃金を目標にさまざまな角度から議論、検証を行った結果、「35歳年収550万円」を今回設定し確認されました。

この他2006秋闘および2007春季生活闘争の大枠の方針も確認され、2007春季生活闘争方針は、12月の中央執行委員会に提起し、来年1月の「第6回中央委員会」で確認することとしています。



契約社員の取り組みについて  
要請する和気代議員



派遣添乗員問題について発言する  
後藤代議員

## 本部役員4名を補選

定期大会では、退任者や新たな中央執行委員の選出などにもない、2006年度本部役員4名の補選を行いました。

新たな中央執行委員には、小仲氏(阪急ホテルマネジメント)、加藤氏(ジェイティービー)と本部会計監査である渡辺氏(トップツアー)の計3名を新たに選出しました。会計監査も安川氏(国際観光会館)の退任と渡辺氏の中央執行委員選出に伴い、浅倉氏(ホテルオークラ東京)と峯島氏(トップツアー)の2名が選出されています。

また、今大会をもって中央執行委員の岡野氏(トップツアー)と寺田氏(全都ホテル)、会計監査の安川氏(国

際観光会館)が退任され「役員退任慰労表彰」を受けました。岡野氏は3年間、寺田氏は結成から5年間、安川氏は1年間ご活躍いただきました。本当にごくろうさまでした。

補選された2006年度本部役員は、次のとおりです。

#### 補選された2006年度本部役員

中央執行委員	加藤 武 (ジェイティービー)
同	渡辺 武 (トップツアー)
同	小仲一彦 (阪急ホテルマネジメント)
会計監査	浅倉 告 (ホテルオークラ東京)
同	峯島 仁 (トップツアー)

観光・航空貨物部会とホテル・レジャー部会の第6回定期総会は、第6回定期大会の閉会後に引き続いて同日14時15分からホテルラングウッドで開催されました。

部会総会では、本部と同様にこの1年間の運動をふりかえり、2005～2006年度部会運動方針中間のまとめと部会独自の課題について運動方針の補強を行いました。両部会定期総会の模様を、各部会事務局長がレポートします。

## ホテル・レジャー部会 第6回定期総会

# 労働条件の産業基準達成に向けて！

ホテル・レジャー部会第6回定期総会は、代議員、傍聴者、役員など約120が出席、斎藤代議員（帝国ホテル）、森岡代議員（リーガ労連）を議長団に選出して開催されました。

総会議案では、「2005～2006年度運動方針中間のまとめと補強」が中心に審議され、次のようなまとめと方針の補強を行いました。

この1年間は景気回復を背景に、宿泊業界でも企業業績の回復傾向が見られる一方、外資の進出や専門特化したホテルの台頭などで、地域や市場での激しい競争が拡大しました。さらに大都市と地方、施設の規模や形態による業績の二極化も広がっています。そんな中、労働条件の維持・向上、組合員の範囲拡大、企業内最賃などの取り組みを評価しつつも、経営問題や組織拡大の取り組みは引き続き一層の強化が求められると総括しました。また、産業基準（諸基準）達成に向けた取り組み手法の検討や、日常的な労使協議の定着化と総合労使協議体制の確立に向けた取り組みの必要性を改めて確認しました。

### 「従業員の過半数の組織率」の確保に全力

組織拡大では、多くの加盟組合で従業員に占める組合員数が過半数を下回る調査結果（05年従業員調査）も出ており、労働法制の制定、過半数の組織率の確保を緊急課題として、「組合員範囲の見直し」「ユシ協定

の締結」「未加盟社の加入促進」「社員登用制度導入」など、具体的目標を立てて早急に取り組むことを確認しました。

労働条件では、安定した年間賃金（最低でも前年年収の維持）や労働条件の維持・向上、安心して働ける職場環境を整備する上でも、労働協約の締結・改訂に取り組むと同時に、残された春闘課題などの議論を行うことを確認しました。

政策関連課題では、2005年にまとめたプロジェクト報告「“快適生活追及”時代のホテル産業」の活用と、加盟組合の教育・研修制度の実態調査に基づき、調査結果報告書の作成を次期大会までにまとめることを確認しました。【林田一郎】



## 産業政策課題への取り組みをさらに強化！

## 観光・航空貨物部会 第6回定期総会

観光・航空貨物部会第6回定期総会には、代議員、役員、傍聴者など約140名が出席し、議長団には日高代議員（ジェイティービー）、角屋敷代議員（京王観光）が選出され、議事が開始されました。1. 中期的で目標感をもった運動の継続、2. 経営問題をはじめとする総合労使協議体制の確立と深度化、3. 部会の運動領域と機能強化、この3つの柱を中心に着実な運動を引き続き進めていくことを確認しました。

### 総合労使協議体制の確立と深度化を！

具体的には、賃金・労働条件は中期賃金政策に基づき定昇相当分の確保と同一年齢における前年年収の確保を最低条件に、一時金は今年の総会で確認した新たな一時金要求基準に則った要求づくりに反映できるよう定着・推進にむけた取り組みを、第5回中央委員会で確認した「業績連動一時金制度及び成果主義賃金に対

する取り組み」に加え今大会で提起された「サービス連合賃金目標」については、今後の部会の賃金政策議論に反映を、また、「60歳以降の雇用確保にむけた対応」の課題提起、「モデル労働協約」の継続的な取り組み、「部会の諸基準」の推進・定着と検証等、個別の課題に対しても具体的な補強を行いました。

一方、部会の重要な運動領域である産業政策課題については、引き続き行政や業界団体に対する関係強化を積極的に図り、働く者の立場から産業政策課題への取り組みと産業労働者の地位向上を目指していくことを確認しました。

また、組織強化および組織課題については組合員範囲の見直しやグループ企業の組織化を中心に加盟組合と連携し取り組みを強化していくとともに、各組合が抱える組織課題について積極的にバックアップする事

を確認しました。また、新たに派遣添乗員の労働条件改善についても、組織化も含めた具体的な活動に発展できるように取り組みを強化していくこととしました。

【小田幸宏】



## 新しい仲間を歓迎

### ①花巻温泉従業員組合

岩手県花巻市にある「佳松園」や「ホテル千秋閣」など花巻温泉の従業員で構成される組合です。組合の歴史も古く、これまで産別組織には加盟せず活動していましたが、この春ホテルでは岩手県初の加盟組合となりました。今大会には代表である小野委員長が出席され、あいさつしていただきました。

### ②クラブメッド労働組合

世界36カ国90以上の施設を有するクラブメッドの従業員が今年6月に結成しました。結成大会は、全国に組合員がいることから東京(サービス連合本部)、札幌(北海道地連)、名古屋(中部地連)、福岡(九州地連)の4箇所で開催されました。最も多くの組合員が集まった東京会場では、委員長に選任された西崎さんが、対話を重視した労働条件の改善をめざす決意表

明を行いました。

2005年度は、企業再編に伴って新阪急ホテル労働組合が阪急ホテルマネジメント労働組合として加盟したほか、ジェイティービー労働組合でも同じく企業再編にあわせて、関連と非組合員契約社員の組合員化により多くの組合員が誕生しました。

### 2005年度の新しい仲間

	組 合 名	組 織 人 員
未組織	クラブメッド労組	62名
未加盟(企業再編)	阪急ホテルマネジメント労組	485名
未加盟	花巻温泉従業員組合	278名
企業内・関連	ジェイティービー労組	2500名



大会であいさつする花巻温泉小野委員長



クラブメッド労働組合のみなさん

サービス連合本部ホームページ開設中  
<http://www.net-stu.com/>